

山協自然保護発第2号

令和7年10月15日

都道府県山岳(・SC)連盟(協会) 理事長 様
自然保護委員長 様

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
会 長 町 田 幸 男
自然保護委員長 小 高 令 子
(公印省略)

「2025 年度全国自然保護委員長会議」および「第 49 回山岳自然の集い」開催のお知らせ

ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

既に全国自然保護委員長様宛には、「2025 年度全国自然保護委員長会議および第 49 回山岳自然の集い」につき簡略なご案内を差し上げておりますが、要項がまとまりましたので改めてお知らせ致します。

これまで年に一度、「山岳自然の集い」として全国の自然保護委員長および自然保護指導員が参集して活動報告や情報交換、また識者から活動に役立つご講演を頂いて参りましたが、本年も昨年に引き続き対面と WEB 併用で開催致します。

今年の基調講演は『山岳環境保全と登山道の維持管理』と題して、環境省のパークレンジャーとして全国各地で勤務され、海外ではフィリピンやマダガスカルなどで自然環境保全業務に従事されたご経歴もお持ち、現在は「山はみんなの宝クラブ」副代表で山岳団体自然環境連絡会幹事でもいらっしゃる森 孝順（もり たかより）氏がご登壇されます。今、【山域で何が起きているのか、登山道の利用と密接な関係】を紐解き、またクマやシカによる被害の急増、富士山を例にオーバーユースの問題等も触れて頂き、今私たちにできることは何かを考えます。

併せて昨年改定した「自然保護指導員規程及び細則」、引き続き改訂に取り組んだ「自然保護の手引き」に基づいて、自然保護指導員の資格取得・更新登録の流れ、指導員の役割、期待される活動等につき改めて考え、指導員の方々からの現場の声を伺いながら討議していきたいと思っています。

また、翌日はAコース/雲取山登山とBコース/長瀬での自然観察の2つのエクスカージョンを計画しておりますので、こちらにもご参加頂きますようよろしくお願い致します。

なお宿泊につきましても、会場内の宿泊施設を用意致しましたので、是非全国の委員と旧交を温めて頂きたいと存じます。

当日・翌日の企画の概要、会場へのアクセスなどの資料をお送りします。

記

開催件名：2025 年度全国自然保護委員長会議および第 49 回山岳自然の集い

開催日：2025年11月22日（土）～同24日（休）

会場：埼玉県立小川げんきプラザ（埼玉県比企郡小川町木呂子 561 TEL0493-72-2220

<https://ogawagenki.com/>

開催方法：ハイブリッド方式（対面とオンライン併用）

式次第：22日 10:00～受付開始

11:00～12:30 全国自然保護委員長会議

13:00～17:20 山岳自然の集い

19:00～21:00 交流会

23～24日 エクスカーションAコース（資料参照）

23日 同 Bコース（資料参照）

参加費用：①22日の会議のみ参加の方（会場参加の方は昼食をご準備下さい）

費用 1,000円（会場、オンライン参加とも。振込先は後記）

＊会場へは東武東上線東武竹沢駅またはJR八高線竹沢駅から徒歩30～40分、
いずれも不便ですので、送迎車を準備します。

（送迎代を別途頂きます/往復1,500円～2,000円）

＊お車の場合関越自動車道嵐山・小川ICまたは花園ICから約10km、駐車場の
予約もありますので、自家用車でご参加の場合はその旨ご連絡ください。

＊オンライン参加の方には参加のためのURLをメールにてご案内致します。

WEB 会議に不慣れなで接続方法等がご心配な方はご説明しますので、その旨
お知らせ下さい。

②22日宿泊を希望される方（エクスカーションには不参加の方）

費用 7,000円（①の費用、2食付宿泊費、懇親会費。往復送迎代1,500円～
2,000円は別途頂きます）。

＊「青少年の健全育成」や「県民の生涯学習活動」を目的とした社会教育施設
です。御利用には様々な制限がありますが、ご理解の程お願いします。

＊8人の相部屋となります。館内の概略図、用意されているアメニティなどは
お申込者に直接ご連絡します

③エクスカーションにも参加の方

資料のコース紹介をご参照のうえA・Bいずれかをご選択下さい。

Aコース

費用 10,000円（②の費用+三峯神社への交通費/マイクロバス利用、ガイド料）

＊参加人数により若干の増減があります。当日精算させて頂きます。

他に雲取山荘宿泊費約11,000円は当日現地払いとなります。

Bコース

費用 10,000 円 (②の費用+長瀬への交通費、テキスト代+博物館入館料、講師謝金)

*参加人数により若干の増減があります。当日精算させていただきます。

***参加のご予定 (リアル・オンライン、宿泊、エクスカーション) を下記フォームにてお申し込み下さい。**

- ・「JMSCA 全国自然保護委員長会議および自然保護の集い」参加申込

(→ [こちらから申し込み](#))

<https://forms.gle/KRPwgYdSCQQdC4hX8>

申込期限：11 月 3 日(月)

- ・「JMSCA 全国自然保護委員長会議 活動報告」(→ [こちらから報告](#))

<https://forms.gle/rPhpRcMCZehswsSv7>

報告期限：11 月 15 日(土)

◎参加費は下記口座に「集い参加費」と所属岳連・お名前を記入の上、11 月 15 日迄にお振込をお願いします。

●振込先情報 ゆうちょ銀行 (9900) 019 (ゼロイチキョウ店)

当座預金 0546693

(公社) 日本山岳・スポーツクライミング協会

なお、会議場への対面参加は先着 80 名、宿泊は 50 名とさせていただきます。

ご連絡が大変遅くなりましたこと、重ねてお詫び申し上げます。

JMSCA 自然保護委員会 shizenhogo@jma-sangaku.or.jp

(資 料)

I 基調講演

講師：森 孝順 (もり たかより) 氏

山岳団体自然環境連絡会幹事「山はみんなの宝クラブ」副代表

講演：『山岳環境保全と登山道の維持管理』～私たちにできることは何か～

1 森林の荒廃 (里地・里山の荒廃、森林飽和)

2 生態系の攪乱・損傷、地球温暖化 (野生動物の増加、外来種の侵入)

3 利用の多様化、ルールとマナーなど (利用者・受益者の負担、登山道の維持管理、山岳振興基本法の制定、外国人登山者の増加) 等々

多角的な視点から今山で起きていること、私たちに何ができるかのご話が伺えると思います。

II エクスカーション

Aコース (雲取山)

東京都の最高峰、標高 2,017m の雲取山 (くもとりのやま) は、奥多摩で唯一の「日本百

名山」に名を連ねる山でもある。雲表に聳え、雲も取れそうな高峰からその名が付いたとされる（『奥多摩町誌』）。秩父多摩甲斐国立公園の代表的な山の一つで、多摩百山、山梨百名山にも選ばれている。見晴らしが良く、周辺の山々のほか富士山、南アルプス、関東平野方面なども見ることができる。妙法が岳、白岩山とともに三峰三山の一つであり、山頂の北西は埼玉県、南西は山梨県と3都県の都県境をなしている。山頂には一等三角点が設置されている。

かつては種々の花々で彩られた稜線は、鹿害によりその様相を変えてしまったが、防鹿柵の設置やシカの駆除が進み回復途上にある。また本年、都内唯一となる稜線上の野営場がオープンしたことに伴う環境の変化なども観察する。

行程：11月23日6:00 マイクロバスにて小川げんきプラザ発～途中、コンビニにて23日の朝食、23・24日の行動食を各自購入～三峯神社P…登山口(9:00を予定) …霧藻ヶ峰…芋ノ木ドッケ…大ダワ…男坂…雲取山荘泊（コースタイム 約5時間）
24日 山荘…雲取山…奥多摩小屋跡(五十人平野営場)…巻き道…雲取山荘…女坂大ダワ…（往路を戻る）…三峯神社—西武秩父駅(解散)（コースタイム約4時間）
*西武秩父駅より池袋駅まで西武池袋線特急利用で約80分です。
*詳細なコース案内、持ち物等は参加申込みされた方に直接ご連絡します。

B コース（長瀬自然観察）

埼玉県立自然の博物館元館長の本間岳史氏（別紙参照）を講師に迎え、長瀬の自然観察を行います。

行程：11月23日、小川げんきプラザを9:00送迎車にて出発—途中コンビニで昼食を各自購入—秩父鉄道長瀬駅（WC・10:30発）…岩畳（石墨片岩・緑泥石片岩・滑石片岩・片理・節理・断層鏡肌・四十八沼など）・秩父赤壁…虎岩（褶曲・節理・黄鉄鉱・磁鉄鉱）…博物館の庭で昼食（12:30～13:00）…埼玉県立自然の博物館見学（WC）…以下希望により選択：(1) 秩父鉄道上長瀬駅（14:00頃解散）、(2) 緑簾石片岩・スティルプノメレン片岩…親鼻の紅簾石片岩と巨大ポットホール…秩父鉄道親鼻駅（15:00頃解散）

自然観察会 （地形・地質を中心とした自然観察）

日時：2025年11月23日（祝）午前11時～

会場：長瀬

見どころ：長瀬は、さまざまな変成岩（片岩）・鉱物・地質構造・河川地形などの地質現象が見られることから「地質学の宝庫」と呼ばれ、地下深くの高圧下で変成してできた片岩を地表で見ることができることから「地球の窓」とも呼ばれている。

秩父・長瀬地域は、明治から昭和にかけて日本列島の成立に関わる先駆的な地質学研究が行われた「日本地質学発祥の地」であり、また、さまざまな教科書的な地質現象を観察できることから、大正5年の宮沢賢治をはじめ多くの学生が実習に訪れる場所とな

っている。見学の拠点としての博物館の存在も大きい。

本コースでは、日本地質学会創立 125 周年記念で選定された埼玉県 of 石（片岩、ステ
ィルプノメレン、パレオパラドキシア）をすべて見学できる。

講師紹介 本間 岳史（ほんま たけし）

新潟県長岡市出身（1949 年生まれ）

信州大学・新潟大学大学院で地質学を専攻（専門：構造地質学・博物館学）

埼玉県教育局文化財保護課にて天然記念物保護行政に従事

埼玉県立自然史博物館（現・自然の博物館）および川の博物館の開設準備・運営に携
わり、同館にて学芸部長、副館長、館長を歴任（2013 年退職）

現在の所属・委員活動

野外調査研究会（会長）

秩父まるとジオパーク推進協議会（副委員長）

NP0 法人秩父まると博物館（副館長）

埼玉県立自然の博物館（外部研究者）

長瀬町文化財保護審議会、武甲山特殊植物保護増殖委員会など、多数の委員会に参加

◎秩父地域のジオパーク推進や天然記念物の保護、地学教育の普及に尽力されており、埼
玉県の自然史研究と文化財保護の両面で重要な役割を果たしてこられました。

『日本の地質 3 関東地方』など著書多数